

SANTA CLARA郡

選挙管理計画



目次

はじめに	4
パート 1 – 選挙管理計画	5
郵便投票 (VBM) プロセス	5
利用可能な郵便投票	6
公式投票用紙投函所	7
投票センター	8
有権者登録	9
補充投票用紙	10
暫定投票	10
投票センターでのバリアフリー投票	10
言語支援	11
投票センターの配置に関する考慮事項	13
選挙担当者の構成	13
電子選挙人名簿 (E-選挙人名簿)	14
アウトリーチ	14
公共相談	14
一般公示	15
言語アクセシビリティおよび投票アクセシビリティ諮問委員会	15
パート 2 : 有権者教育とアウトリーチ	16
第 1 項 : 有権者との接触 - 一般	16
メディアの使用	16
地域社会でのプレゼンス計画および有権者教育の資料	18
直接郵送	18
ROV のウェブサイトの有権者教育関連資料	18
第 2 項 : 有権者との接触 - 少数言語の地域社会	18
少数言語の地域社会の特定	18
対象となる少数言語コミュニティ	19
少数言語の地域社会のための有権者教育ワークショップ	19
少数言語の地域社会を対象とするメディアの利用	19
選挙担当者	20
第 3 項 : 有権者への対応 - 障害を持つ有権者	21

障害を持つ有権者の必要を特定するために使用される方法.....	21
障害者コミュニティへのアウトリーチ.....	21
障害を持つ有権者に対するサービス.....	22
障害者コミュニティのための有権者教育ワークショップ.....	22
障害を持つ有権者の教育に使用される資料.....	22
選挙担当者.....	22
第4項：投票センターおよび投票用紙投函所.....	23
投票センターの場所.....	23
投票用紙投函所.....	23
予防措置.....	23
緊急時対応計画.....	24
第5項：投票センター投票のセキュリティおよびプライバシー計画.....	24
投票センターの設計とレイアウト.....	24
投票に関するセキュリティ.....	24
第6項：予算.....	25

はじめに

California 州有権者による選択法 (VCA)、つまり上院法案 (SB) 450 (Allen, D-26) は、2016 年 9 月 29 日に California 州選挙法に第 4005 項を追加して承認されました。これにより、認可された郡では、監督委員会の承認が得られれば、特定の要件を満たした上で、任意の選挙についての郵便投票を行うことが許可されています。VCA の下、すべての有権者に選挙の 29 日前より投票用紙が郵送され、各郡は、郡民の意見を基に、郡内の有権者であれば誰もが投票できる投票用紙投函所や投票センターを多数開設します。この法案は、投票の選択肢を拡大することで、有権者の参加および関与を増やす目的で、選挙の実施方法の変更として提案された数多くの選挙改革の一環です。

VCA の施行以前は、従来の投票所モデルの下で選挙が実施されていました。これは、郵便投票と投票所管理を組み合わせたモデルでした。選挙法第 12261 (a) 条により、郡の選挙担当者は、それぞれ異なる投票所を持つ最高 1,000 人迄の有権者の選挙区を設定していました (郡及び州の開票結果は、各選挙区よりの記録を元にします)。2002年にカリフォルニア州選挙法が拡張され、すべての有権者が永続的な郵便投票を申請する事が可能となり、毎選挙におき、自動的に投票用紙が郵送されるようになりました。それ以外の有権者が郵便投票を希望する場合、各選挙ごとに申請するか、選挙区や投票用紙の種類に応じて指定された投票所で直接投票を行う必要がありました。

Santa Clara郡によるVCAの施行により、選挙は新しい投票センターモデルに基づいて実施されています。この新しいモデルでは、すべての登録済有権者に、選挙予定日の29日前から自動的に投票用紙が郵送されます。有権者は、郵送 (郵便料金支払済)、郡内の任意の投票用紙投函所、または任意の投票センターの 3 つの方法のうちのいずれかの方法で投票用紙を返却することができます。有権者は、郵便投票用紙を返送する必要はなく、有権者登録事務局 (ROV) あるいは、Santa Clara 郡内にある 任意 の投票センターにおいて直接投票用紙を入手することもできます。現在、有権者が投票できる場所は一カ所だけでなく、郡内の登録済み有権者は、どの投票センターでも投票を行うことができます。また、投票センターは、選挙期日当日に加え、選挙期日の数日前から郡内の登録有権者 全員 に開放されています。

VCA の変更が地域社会に周知されていることをさらに確実にするために、ROV は、投票アクセシビリティ諮問委員会 (VAAC) および言語アクセシビリティ諮問委員会 (LAAC) を設立しました。VAAC の目的は、高齢者や障害者がどのように選挙過程に関与出来るかを伝達し、また支援を拡大出来るか、およびそれを可能とする為の提案の提供を支援することです。VAAC の使命は、すべての有権者が独立して個人で投票する機会を提供することです。LAAC の目的は、主に英語以外の言語を話す有権者による投票手続きの多言語利用に関する情報の伝達と支援拡大、および提案の提供を支援することです。LAAC は、他言語で利用できる機会の拡大を支援することを使命としています。両委員会は、ROV への重要なガイダンスを提供するものであり、郡内の有権者のアウトリーチおよび選挙管理の両面での基本構成要素となっています。ROV では、LAAC または VAAC の委員申請を引き続き受け付けています。この両委員会の委員に応募しようとする場合、申請書が ROV のウェブサイト (www.sccvote.org/voterschoice) に掲載されています。

ROV はまた、有権者教育プログラムを拡充し、住民に対するVCAおよび地域社会への参加機会の広報の目的で、有権者教育およびアウトリーチ委員会 (VEOC) を設立しました。この選挙管理計画 (EAP) には、これらの委員会および様々なパートナー組織からのフィードバックおよび情報が盛り込まれています。地域社会から支援を得ることは、Santa Clara 郡における VCA および新しい選挙管理方式の成功に不可欠です。

本文書は、Santa Clara郡がVCAに基づいてどのように選挙を行うかに関するガイドです。ご参考までに、選挙に関する専門用語などは、付録Aの用語集で定義されています。

パート 1 – 選挙管理計画

California 州有権者による選択法 (VCA) を実施する各郡は、この変更が有権者に与える影響を把握するために不可欠な情報を含む選挙管理計画を起草しなければなりません。EAP は、パート 1：選挙管理、およびパート 2：教育およびアウトリーチ計画の 2 部構成です。

郵便投票 (VBM) プロセス

EAP には、投票センターおよび投票用紙投函所の場所および受付時間に関する情報が含まれ、言語アクセシビリティ諮問委員会 (LAAC) および投票アクセシビリティ諮問委員会 (VAAC) の設立、有権者の教育およびアウトリーチ計画、郡民の参加および通知に関する考慮事項、およびその他の関連内容が記載されています。

投票センターモデルでは、登録されているすべての有権者に、公式の郵便投票パッケージが自動的に送られます。白い封筒で有権者に届けられる書類一式には、以下の書類が同封されています。

- 青色の返送用封筒
- 公式投票用紙 (選挙内容に応じ、複数の投票用紙となる場合があります)
- 投票用紙の記入および返送方法説明用紙
- 投票センター および投票用紙投函所の場所および受付時間を記載した用紙
- 「投票しました」ステッカー
- 追加資料 (必要がある場合)

すべての公式投票用紙は、選挙日の **29** 日前から、米国郵便サービスで郵送されます。その後、順次郵便投票パッケージが有権者の下に届き始めます。

郵便投票用紙に記入を終えた後、有権者は、提供された郵便料金支払い済返信用封筒に投票用紙を入れて標準郵便で返送するか、投票センターまたは投票用紙投函所で投票用紙を提出することができます。すべての投票センターは投票用紙投函所としての機能も併せ持っていますが、投函所としての機能しかない投票用紙投函所もあり、それは郡内の指定された地域に設置されます。

有権者が受け取っているはずの時期に投票用紙を未だ受け取っていない場合や投票用紙に誤記入をしてしまった場合には、有権者は投票用紙の交換を請求することができます。交換投票用紙が入った郵便投票書類一式が郵送されます。選挙日の **7** 日前を切って投票用紙の交換を必要とする場合は、有権者登録事務局 (ROV)、あるいは投票センターで新しい投票用紙を入手しなければなりません。

第一言語が英語以外の登録有権者用に、**8** か国語 (中国語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語、クメール語、韓国語、ヒンディー語、または日本語) と英語の**2** か国語投票用紙を利用することができます。また、選挙法第 **§14201** に基づき、対象となる選挙区では、リクエストに応じて、グジャラート語、ネパール語、パンジャブ語、タミル語、テルグ語のファクシミリ投票が可能です。地理情報システムマッピング部門が、各選挙でどの選挙区にファクシミリ投票を適用するかを決定します。有権者は、有権者登録時の登録用紙に希望する言語を上記の言語から指定することができます。投票用紙および郵便投票用資料は、希望した言語で送付されます。有権者は、電話 ((408) 299-VOTE)、ファックス ((408) 998-7314)、電子メール (voterinfo@rov.sccgov.org)、有権者行動要求フォーム (VARF) で、あるいは直接事務局に出向き、ROV に希望言語の変更を請求することもできます。有権者は VARF を ROV 事務局で入手することができます。また、VARF は電子メール、ファックス、郵送による送付もできます。また、VARF は、ROV のウェブサイトおよび Santa Clara 郡有権者情報ガイド (CVIG) にも掲載されています。

利用可能な郵便投票

有権者は、ROV 事務局に問い合わせ、利用可能なフォーマットの投票資料を請求することもできます。有権者がいったんこの請求を行うと、永続的な一覧に登録され、選挙毎に投票用紙が利用可能な形式で郵送されます。非有権者となった場合、郡外に引越した場合、重罪犯罪者リストに記載された場合、あるいは死亡した場合にのみこの一覧から除外されることとなります。

有権者が請求することができるもう一つ利用可能な方法には、遠隔地アクセス郵便投票システム (RAVBM) があります。RAVBM システムは、障害を持つ登録有権者だけでなく、兵役軍人および海外在住の有権者が利用できるように設計された制度です¹。RAVBM システムの目的は、インターネット上で投票することではありません。RAVBM を利用する有権者には、投票用紙のダウンロード、印刷、記入、および投票用紙を投票日までにROVに返送する方法の説明とともに、公式投票用紙にアクセスするためのリンクが記載された電子メールが送信されます。有権者は、電子メールで送信されたリンクを使用して、投票用紙をデバイスにダウンロードし、独自のパーソナライズされたアクセシビリティ機能を使用して投票用紙を読んで記入する必要があります。すべての登録有権者と同様に、RAVBM を利用する有権者も、投票用紙を提出するには、普通郵便で郵送する方法、投票用紙投函所で投函する方法、あるいはいずれか任意の投票センターで提出する方法の3種類の投票方法があります。

いずれの返送方法を選択した場合であっても、投票用紙は封筒に入れて提出する必要があります。郵便投票の封筒に同封された青返信封筒を利用することを有権者に推奨します。有権者は交換用投票用紙返送封筒をROV 通話無料番号(866) 430-8683に電話して請求することができ、あるいはROV 事務所または投票センターで入手することも可能です。交換用投票用紙返信封筒は、投票用紙投函所で入手することも可能です。有権者は自身の封筒を利用することもできますが、投票用紙と共に、定型的な誓約文と署名を記載した紙を同封することが必要となります。定型的な誓約文は、RAVBM のメールリンクから投票用紙とともにダウンロードされます。普通郵便による投票用紙の返送を選択した場合、投票用紙青返信封筒は郵送料がかかりませんが、ご自身の封筒を用いて返送する場合は通常の郵送料が必要となります。

入院中の有権者、障害を持つ有権者および医療的緊急事態により外出を制限されている有権者が、投票用紙を必要とし、かつ自分自身では投票用紙を取得することができない場合には、緊急投票用紙配布手続きが使用されます。期日前投票申請書へ記入して、ROV 情報管理システム (EIMS) を通じて、現行の登録情報および署名の一致を確認するために返送することが必要です。登録有権者は、期日前投票申請書を完成させて、署名と日付を記載しなければなりません。有権者自身が申請書に署名できない場合には、「X」と署名するのを誰かに手伝ってもらうことも可能です。有権者を手伝う代理人は、「証人」と書き、名前を印刷体で書いて署名し、記入済みの期日前投票申請書を Berger Drive にあるROV 事務局に返送する必要があります。ROV 事務所は有権者の情報と署名を EIMS で確認する作業に入り、確認が取れ次第、投票用紙を有権者に発行するとともに、郵便投票書類一式を作成します。有権者の手伝いをする代理人は、投票用紙を各所在地にいる有権者に運ぶこととなります。投票用紙への記入完了後、その投票用紙は、ROV 本部事務所、投票センター、または投票用紙投函所に返送され、他の郵便投票用紙と併せて処理されます。

郡の拘置所に収監されている有権者も緊急投票用紙配布手続きを利用することができます。州または連邦の刑務所に収監されている有権者は法律により投票する資格がありません。

¹ California 州選挙法第 §303.3 を参照

公式投票用紙投函所

郡が有権者に投票用紙投函所を提供すべき設定値をCalifornia州選挙法は定めています。選挙日の28日前および選挙日の、合計29日間にわたり、1万5千人の登録済有権者毎に、少なくとも1カ所の投票用紙投函所が必要となります。

有権者登録事務局 (ROV)の現在の登録有権者数を用いると、投票用紙投函所の最低必要数は67カ所となります。投票用紙投函所の数は、各選挙前88日目の時点での郡内の登録有権者数に基づいて変更されることがあります。

選挙区分	最低必要数
投票用紙投函所 (登録有権者1万5千人あたり1カ所)	67

最良の投票用紙投函所を決定する上で、ROVは、州務長官(SOS)および選挙法によって義務付けられた14点の基準を使用して、最も効率的な投票センターの場所の決定に役立てています。上記14点の基準は、ROVが投票用紙投函所に利用できる最もアクセスしやすい場所の候補を郡に提供する上でも活用されています。この基準には以下が含まれます。

1. 公共交通機関に近いこと
2. 郵便投票の利用が少ない地域に近いこと
3. 居住区域に近いこと
4. 言語マイノリティ地域に近いこと
5. 障害を持つ有権者に近いこと
6. 車両所有率の低い地域に近いこと
7. 低所得者地域に近いこと
8. 有権者登録率の低い地域に近いこと
9. ネイティブアメリカン居留地を含め、地理的に隔離された居住地に近いこと
10. 障害者も利用できる無料の駐車場があること
11. 投票センターと投票用紙投函所までの距離および所要時間
12. 郵便投票用紙が利用できない障害を持つ有権者に対する代替方法の必要性
13. 投票センターおよび投票用紙投函所付近の交通パターン
14. 移動式投票センターの必要性

ROVは、障害のある有権者により適切に対応するために、交通手段および人口密度の面から、公式投票用紙投函所に関して、米国障害者法(ADA)の要件に準拠しています。投票用紙投函所は、選挙日の29日前から、各場所に設置されます。選挙日前28日目までに、すべての投函所が設置され、使用する準備ができていなければなりません。投函所は、すべての有権者が利用できるように、以下の機能で設計されるものとします²。

- 物理的損傷および無許可の進入を防止するため、屋外に設置された無人投函所は、破壊行為、撤去、悪天候に耐えうる耐久性に優れた素材を用いて製造されなければなりません。
- 投函所には、投票用紙の改ざんあるいは排除が不可能な大きさの開口部を設けます。
- 投函所は、不正なアクセスが行われた場合、その物的証拠が残されるように設計するものとします。本項記載の目的のため、選挙担当者が、不正開封防止シールを使用する場合もあります。

- 投函所は、投票用紙を挿入する場所を特定する標識を提供するものとします。
- 各投函所には、一意の識別番号が割り当てられ、指定された投票用紙の回収員および一般市民が容易に認識できるように投函所に設置されるものとします。
- 投函所には、「公式投票用紙投函所」と、はっきりと目立つサインが設けられるものとします。
- 投函所の器具は、握るのに強い力が必要だったり、つまんだり、手首をひねらずに操作できるものでなければなりません。
- 投函所の器具は、有権者が使用するのに、**2.3 kg (5 ポンド)** 以下の圧力しか必要でない構造にするものとします。
- 投函所は、車椅子を利用する人のために、床または地面から **38 cm ~ 122 cm (15 ~ 48 インチ)** の範囲内で使用できるものとします（車の運転者向けの投函所は適用外とします）。
- 投票用紙投函所の看板は、背景の対象色を使用し、「ノングレア」仕上げとします。
- 投函所は、人々が公式かつ安全であると認識するような設計でなければなりません。
- 郡内の各投票用紙投函所には、職員がいる場所でも無人でも、同じ機能が提供され、同様のデザイン、配色、および一般市民が容易に認識できる看板が提示されていなければなりません。
- 投票用紙投函所の規模は、**Santa Clara 郡**の使用とニーズに基づくものです。
- 公式投票用紙投函所に関して留意すべき重要な事柄は以下のとおりです。
- 投票用紙を投函所で提出するために切手は必要ありません。
- 郵便投票用紙は、選挙日の午後 **8 時**以降は受け付けません。
 - 選挙日の午後 **8 時**きっかりに、投函所は閉鎖されます。
 - 投票センターの終了時に有権者が投票する列に既に並んでいた場合、あるいは裁判所命令で投票時間が延長された場合は、例外とします。
- 公式投票用紙投函所の改ざんは重い罪に問われます³。
- 各投函所では、箱が満杯の場合、改ざんされた場合、または破損した場合に、すべての選挙担当者が認知できるように、通知書を貼るものとします。
- 投函所には、投函所が改ざんまたは破損した場合の通知のために、**ROV**の事務局の番号および、**ROV** または **SOS** のいずれかへのフリーダイヤル番号を記載するものとします⁴。

第一言語が英語以外の有権者が間違いなく利用できるように、投票用紙投函所には、英語、中国語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語、クメール語、韓国語、ヒンディー語、日本語、グジャラート語、ネパール語、パンジャブ語、タミル語、およびテルグ語の **14**の言語すべてで「公式投票用紙投函所」の表示をします。

さらに、各投票用紙投函所に必要な場合には予備の投票用紙の返送用封筒が利用できることが表示されます。有権者の氏名、住所、生年月日を記載して署名することなどの封筒に記載された説明に従うように有権者に指示します。投票用紙投函所を利用する場合には、有権者の情報と署名のある封筒に投票用紙を入れて封をして提出する必要があります。有権者に何らかの疑問、質問がある場合やさらに手助けが必要な場合には、通話無料番号を教えて、電話するように有権者に伝えられます。

投票センター

投票センターは最長 **11 日間**開かれ、新しくて障害者にとってより利用しやすい投票機材、言語の支援の提供がなされた条件付き有権者登録および即日投票を利用することができます。さらに、有権者は、割り当てられた投票所に限らず、**Santa Clara 郡**全域にある利用可能な投票センターからどこでも選択して、赴いて投票することができます。

³ California 州選挙法第§18500 を参照

⁴ California 州選挙法第 §20132 を参照

VCA の下では、従来の投票所で実施されて来たものよりも多くの日数、投票センターを開くことが求められています。投票センターは、(1) 選挙日の 10 日前および選挙日を含め、合計 11 日間、(2) 選挙日の 3 日前および選挙日を含め、合計 4 日間、の 2 種類の期日前投票期間を設けた運営が必要とされます。California 州の選挙法により、郡が有権者に投票センターを提供すべき設定値が設定されています。

- 選挙日の10日前から4日前までの計7日間、選挙が行われる管轄区域内で、5万人の登録有権者につき1カ所の投票センターを運営しなければなりません。
- 選挙日の3日前から選挙当日を含め、合計4日間、選挙が行われる管轄区域内で、1万人の有権者につき1カ所の投票センターを午前7時から午後8時まで運営しなければなりません。
- VCAモデルで行われる特別選挙では、選挙日の10日前から合計10日間、有権者6万人につき1つの投票センター、選挙日には有権者3万人につき1つの投票センターを午前7時から午後8時まで運営しなければなりません。

有権者により良いサービスを提供するために、Santa Clara 郡は、リソースが許す限り、最低必要数を上回る11日間の投票センターと、最低必要数を上回る4日間の投票センターを追加で運営することを計画しています。選挙日前の投票センターの運営時間は、各施設によって異なる場合があります⁵。選挙日には、選挙法に準拠し、すべての投票センターが、午前7時から午後8時まで有権者に対応します⁶。有権者登録事務局 (ROV)の現在の登録有権者数をもとに、11日間および4日間用の投票センターの最低必要数を以下の表に示します。実際の計算値は、選挙法に基づき、選挙日の 88 日前に決定されます。⁷

選挙区分	最低必要数
11 日間開館の投票センター (登録済み有権者5万人あたり1箇所)	20
4 日間開館の投票センター (登録済み有権者1万人あたり1箇所)	81

有権者登録

投票センターでは、従来の投票所モデルで提供されてきた以上のサービスを提供します。投票センターで提供されるサービス拡大の一つに、有権者登録があります。有権者は、投票登録、有権者登録内容の更新、条件付き投票を、任意の投票センターで行うことができます。条件付き有権者登録 (CVR) を利用して投票する資格がある有権者は、投票用紙を CVR 封筒で受け取るようになります。

CVR は、15 日間の登録期間中に登録できなかった地域の人々が、投票センターに出向き、登録と投票を同日に行う方法です。有権者は、15 日間の登録期間終了後に、CVR を利用して、住所または政党を更新することができます。ただし、政党の更新は、大統領選予備選挙にのみ適用されます。すべてを記入した CVR 投票用紙が ROV に返送されると、有権者資格に関する審査が行われます。投票用紙は、有権者がすべての資格要件を満たしていることを確認した上でのみ、開封および集計されます。CVR 封筒は、有権者の登録宣誓供述書の機能も有すると同時に、レシートを封筒から切り離すことで、有権者は ROV のウェブサイト上で投票用紙の状態を追跡することができます⁸。

⁵ ROV の投票センター特定の作業は継続中であり、本文書作成時には、すべての場所および受付時間を入手することができませんでした。

⁶ 選挙法第 §4005 参照

⁷ 選挙法第 §12223 参照

⁸ 郵便投票用紙の追跡ウェブサイト：<https://eservices.sccgov.org/rov?tab=ab>

補充投票用紙

投票センターは、要請に応じて、有権者に投票用紙の補充を提供することができます。同じ選挙の投票用紙が ROV から受領されていないことが確認された後、有権者は任意の投票センターで代替の投票用紙を請求することができます。⁹ROV が有権者が投票用紙を受け取ったかどうかを判断できない場合、ROV は有権者が暫定的に投票できるようにする場合があります。

暫定投票¹⁰

有権者は、どの投票センターでも暫定投票を行うことができます。登録済との申立てがあっても、登録状況および選挙資格が ROV の職員によって直ちに判断できない場合、有権者は暫定投票用紙で投票する権利が与えられています。ROV は、暫定投票を行う権利を有権者に対して通知し、以下を提供する必要があります。

- 暫定投票用紙および暫定投票用紙を使用した投票手続きに関する書面による指示
- 有権者の登録および投票資格に関する確認書（投票者による署名が必要）

暫定投票を行うには、有権者は ROV 職員の立ち合いの元で署名しなければなりません。有権者の確認書には、Santa Clara 郡における投票権および登録済であることが記載されています。その後、有権者は、ROV の本部事務局に届けるように暫定投票用紙を封印しなければなりません。

公式開票中、職員が有権者の住所を確認し、暫定投票用紙封筒の署名が有権者の登録宣誓供述書または有権者登録ファイル内の別の署名と一致することを確認しなければなりません。名、ミドルネーム、またはその両方を頭文字に置き換えた場合でも、投票用紙は無効になりません。職員は、投票用紙を開く前に追加の資格要件を確認しなければなりません。

暫定投票用紙で投票する各有権者は、封筒から領収書を切り取り、ROV のウェブサイト¹¹で投票用紙の状況を追跡することができます。¹¹ 有権者は、自分の票が数えられたかどうか、また数えられなかった場合は、その理由を知るために、ROV に問い合わせたり、ウェブサイト¹² を利用することができます。

投票センターでのバリアフリー投票

Santa Clara 郡の有権者登録事務局（ROV）は、VCA の計画から実施の全過程において、有権者に対するバリアフリーを考慮し、確保することを目指しています。有権者のあらゆるニーズに応えるために、投票センターの選択、投票機器、選挙担当者のトレーニングおよび配置を検討する上で、ROV にとってバリアフリーは考慮すべき主要な点です。ROV は、遠隔地からの郵便投票 (RAVBM) などこれまでに確立された投票方法に加えて、投票マーキング機 (BMD) を使用して、すべての投票者のために、安全かつ、バリアフリーで、自立した投票方法を推進しています。Santa Clara 郡は、引き続き、すべての投票センターでバリアフリー投票を提供します。¹³

ROV は、California 州務長官の利用可能性確認リスト調査を使用して、基準を満たす投票センター施設の機能と、変更が必要な機能を判断します。すべての変更点は、施設の設置および運営を担当する監督者に提供される地図、図表、および写真と共に、配送システムおよび各投票センターのパンフレ

⁹選挙法第 §4005 参照

¹⁰選挙法第 §14310 参照

¹¹郵便投票用紙の追跡ウェブサイト：<https://eservices.sccgov.org/rov?tab=ab>

¹²暫定投票追跡ウェブサイト：<https://eservices.sccgov.org/rov?tab=pb>

¹³選挙法第 §19240 参照

ットに注記されます。変更点は、障害を持つアメリカ人法 (ADA)¹⁴ の要件を満たすことが求められており、それには、ADA駐車場、スロープ、ドア、通路、その他があります。

Santa Clara 郡内の各投票センターには、最低 3 台のバリアフリー投票用紙記入装置が設置されています。自立投票システム ICX BMD は、障害を持つ有権者の一部に対して、自立した投票手続きを提供いたします。各投票センターの BMD 諸機器には、ADA に準拠する機能および、様々な投票方法のオプションが提供される付属品が用意されています。これらの機器には、すべての投票用紙の種類および言語バージョンに対応するようプログラムされています。

郡の投票システムには、よりアクセスしやすい投票体験を提供する多くの機能が含まれています。このシステムでは、視覚的、音声的、および触知的インターフェースが利用可能で、有権者が自ら選択してそれらを組み合わせることで、誘導されて、投票用紙に記入できるようになっています。画面の視覚的な変更に関しては、画面上のフォントのサイズを変更でき、画面の解像度を黒を背景とした高コントラストの白に切り替えることができます。画面の変更に加え、音声的触知的インターフェイス (ATI) キーパッドを接続できます。ATI ユニットには、有権者が投票用紙の内容を聞くことができ、(必要に応じて) スピーチのペースを調節し、選択を行えるようにする音量調整式音声的コンポーネントが装備されています。ATI には、対応する点字の説明と「息操作」による記入またはパドル選択装置を備えた案内用の幅広い大型ボタンもあります。これらの機能を単独で利用できない有権者は、投票プロセス全体での手助けのために最大 2 人の個人を同伴できます。さらに、ROV では、要望に応じて、郡有権者情報ガイド (CVIG) のオーディオテープの提供も行います。

1 台以上の BMD が故障または機能不全が発生した場合、ROV は直ちに必要な装置と交換する手続きを開始します。交換プロセスは、その場所で利用することができる機器の機能や、キャパシティの必要性、および故障の重大性などによって優先順位がつけられます。3 つのチームを持つ 1 ヶ所のサポートサイトが 6 ヶ所の投票センターグループ毎に配備されるサポート運営率となっています。

各投票センターで運用できる追加の利用可能なサービスには、路面投票や、投票センターのプロセス全体に関してあらゆる投票者のニーズを評価し、指示を行うように訓練された係員の配置などがあります。

言語支援

必要なすべての言語について、何らかの形の言語支援を各投票センターが提供できるようにすることを ROV は目指しています¹⁵。Santa Clara 郡では、以下の言語がサポートされています。

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| - 英語 | - ヒンディー語 | - ネパール語 |
| - 中国語 | - 日本語 | - パンジャブ語 |
| - スペイン語 | - クメール語 | - タミル語 |
| - タガログ語 | - 韓国語 | - テルグ語 |
| - ベトナム語 | - グジャラート語 | |

特定地域社会のニーズに応じ、ROV は、あるコミュニティにおいて支配的に使用されている言語を話せるバイリンガル職員の採用に努めています。一定の言語のニーズを必要とする地域の特定が行われることとなりますが、バイリンガル職員を採用できない場合には、投票センターの職員が ROV に連絡し、投票者をバイリンガルの事務局職員または郡の電話翻訳サービスと連絡できるようにします。

¹⁴障害を持つアメリカ人法のウェブサイト: <https://www.ada.gov/>

¹⁵選挙法第 §12303 参照

有権者データベースからのマッピングおよび言語データと併せて、ROVは、最も効率的な方法で当該コミュニティに役立てる場所に、バイリンガル職員を配置することを目指しています。バイリンガル選挙管理官の特定の言語地域の投票センターへの配置は、郡全体に各投票センター職員を配置するのに十分な数のバイリンガルの選挙管理人が不在の場合に発生します。

公式投票用紙、CVR、暫定投票用封筒は、連邦政府の指定言語である英語、中国語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語と、州の指定言語であるヒンディー語、クメール語、韓国語、日本語で作成されています。選挙法（EC）第14201項に従い、対象選挙区では、州の指定言語であるグジャラート語、ネパール語、パンジャブ語、タミル語、テルグ語の見本投票用紙が作成されます。投票センターでの表示は14カ国語すべてに対応しています。見本投票用紙は有権者が投票する際に参考にするために使うことができる投票用紙のサンプルです。Santa Clara郡の有権者登録事務局は、対象の投票センターにおいて、2021年に追加された五つの州で指定された言語、グジャラート語、ネパール語、パンジャブ語、タミル語、テルグ語による見本投票用紙をご用意します。見本投票用紙は、指定の投票センターで、内密に投票用紙に記入して提出する際に使うことができるように用意されます。見本投票用紙は、有権者がこれを用いて投票しようとするのがないよう、正規の投票用紙とは外観が異ならなければなりません。投票センターの職員は、有権者に見本の投票用紙が存在することを伝え、有権者から求められた場合にそれを提供する方法について訓練を受けます。郡がサービスを提供している14言語（英語、中国語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語、クメール語、韓国語、ヒンディー語、日本語、グジャラート語、ネパール語、パンジャブ語、タミル語、テルグ語）すべての標識が、すべての投票センターの対象地区の電子投票簿の近くに掲示され、見本投票用紙の存在を有権者に知らせます。

すべての郡有権者情報ガイドには見本投票用紙の申請書が挿入され、選挙法§14201項に基づき、投票センターにおいて見本投票用紙が要請に応じて提供されるという情報が、14の言語すべてによって記載されます。見本の投票用紙が有権者のために用意されている投票センターの一覧は、選挙の少なくとも14日前に郡のウェブサイトに掲載されます。

特定のバイリンガルの職員が不在の場合、投票センターの職員は、ROVの事務局に電話して、バイリンガル職員と話すことが可能です。さらに、郡の電話翻訳サービスを通じて、リクエストを受けたすべての言語に対応することが可能です。

すべての投票資料は、連邦政府が定めた5つの言語で作成されており、印刷媒体と電子媒体（タブレットに郡有権者情報ガイド（CVIG）を搭載）のどちらでも使用することができます。すべての投票センターで、言語支援を利用できることを知らせる掲示もなされます。

投票センターの配置に関する考慮事項

ROVは、投票用紙投函所の章で概略を述べたのと同じの、州務長官が決定した14の基準を用います。これらの基準を数値化するために、複数の情報源(アメリカ地域社会調査局、ROV有権者データベース、VTAバス停留所など)から集めたデータが用いられます。これらの基準には、公共交通機関、交通パターン、居住地区、言語マイノリティ、障害者、自動車保有率、低所得者率、郵便投票の利用率の低さ、有権者登録率の低さがあります。

「DOTS」と呼ばれる位置決定ツールが開発され、ROVが投票センターに最適地を決定する際に活用されました。この方法では、郡内を0.5マイルの格子状に分割します。分割された各区域には、上記各基準についてランク付けが行われ、1から5までの得点をつけます。各個別のスコアが加算され、最後に合計得点が得られます。そして、投票センターおよび投函所の候補地をスコアマップの上に積み重ねます。そして、高い得点の区域またはそれに近い区域に該当する場所が、基準をより満たすという理由から優先的候補地とされます。

この選考過程において、一般からの意見も考慮に入れます。ROVは、これまでに有権者登録率や郵便投票の利用率が低い地域について、利用しやすさを重点的に考慮しており、こういった地域では、条件付き投票者登録や直接投票など、投票センターが提供するサービスを最大限に活用することができます。市民とROVが選んだ基準は、位置決定ツールの開発プロセスにおいて最大限のウェイトが置かれます。バリアフリー度、価格、規模、部屋の形、駐車場へのアクセスなどその他の基準については、具体的に想定したシナリオに基づいて、評価が行われます。

ROVは、高密度地域、歴史的に投票率の低い地域、およびサービスの行き届いていない地域社会への適切な支援を提供するために取り組んできました。さらに、投票センターの区域分け方法は、有権者が投票センターまで来るのにかかる距離と時間の限度を限定するために、設定されました。ROVでは、仮設投票センターの代わりに、上記の最低要件を満たす追加の投票センターを設置し、選挙区内全体に均等に配置して、地域社会により良いサービスを提供することを計画しています。

選挙担当者の構成

ROVは、投票センターに配置する選挙担当者を雇用しています(選挙法により選挙管理委員会と呼ばれます)¹⁶。選挙担当者は、有権者に対応するのに必要な能力が最大限となるように、できるだけ多くの多様な地域社会からの人材を集めて形成されています¹⁷。投票センターの職員は、カスタマーサービスの経験、バイリンガル能力、人種・言語・宗教等の多様性の受け入れに関する気配り、リーダーシップ資質、技術的能力、および地域社会への参加についての市民の義務への関心を示す人材が採用されます。職員は、新たな投票センターのテクノロジー、有権者への対応の仕方、および群衆管理についてのトレーニングを受けます。顧客サービストレーニングでは、その他、高齢者や障害を持つ有権者のためのアクセシビリティ、多様性の受け入れ、および適切なコミュニケーションも網羅されます。ROVでは、資格および地域社会の必要に基づき、最良の候補者が選ばれます。

選挙担当者の構成は特別支援郡職員と有給ボランティアで成り立ちます。リーダーとクラークは時給制の郡職員として採用され、受付係はほとんどが有給ボランティアです。投票センターの全職員はその職務に応じたトレーニングを受けて、1日(有給ボランティア)から全選挙期間または複数の日、従事します。

¹⁶選挙法第 54005 参照

¹⁷選挙法、第 12 部、第 4 章、第 1 条

投票センターの人員の配置は、投票センターの規模および選挙日の近さに基づきます。各投票センターにおいて、6人から15人の選挙担当者を配置する計画となっています。選挙日が近づくにつれて、さらに多くの職員が、大規模な投票センターおよび混雑する時間帯や曜日に配備されます。郡内の他言語上の必要を満たすために、できるだけ多くのバイリンガルの選挙担当者を採用する努力が払われています。

電子選挙人名簿（E-選挙人名簿）

VCA の下での変更の効果的な実施に向けて、投票センターには電子選挙人名簿が準備されます。¹⁸ 電子選挙人名簿は、投票センターと ROV の選挙情報管理システム（EIMS）との間の電子通信を確実に安全に行うために使用される電子ハードウェアおよびソフトウェアの組み合わせとなります。その後、ROV EIMS は VoteCal から、州務長官に情報を伝達します。VoteCal とは、州全体の一元化された有権者登録データベースで、郡選挙管理システムや矯正局、公衆保健局、車両管理局などの州のシステムとのやり取りや情報交換を行います。この新たな VCA の技術は、ノートパソコンまたはタブレットのいずれかで動作し、「硬化」されており、ROV が承認した電子選挙人名簿のソフトウェアのみがデバイス上で動作します。

電子選挙人名簿には、投票センターで運搬および使用できる登録済有権者（登録名簿）の電子一覧が含まれています。登録名簿は、選挙で投票する資格のあるすべての登録済有権者の公式一覧です。この一覧は主に二重投票防止のために、投票用紙を受け取る有権者資格の検証および有権者の履歴のほぼリアルタイムでの取得を行う目的で利用されます。

電子選挙人名簿は安全に施錠された防水ケース内に収められ、ケースは厳重に担当職員に割り当てられた錠と鍵によって二重の施錠が施されるケージ内で毎日保管されます。運営時間中は、上記ユニットに保存されたデータは継続的に更新されます。電子選挙人名簿は、承認されたユーザーのみが、セキュリティ保護が施されたクラウドサーバーへの安全な接続を使用してログインできるようにユーザーアクセスのプログラムが構築されています。このクラウドサーバーでは、有権者データのいかなる更新についても送信が行われるために、データベースと ROV の選挙情報管理システムとの接続が維持されます。電子選挙人名簿における有権者データのセキュリティについての詳細は、**パート 2：有権者の教育およびアウトリーチ計画の投票のセキュリティセクション**を参照してください。

電子選挙人名簿を使用して、氏名、住所、生年月日、希望言語、支持政党、選挙区、および郵便投票状況などの有権者登録データを確認することができます。また、電子選挙人名簿では、運転免許証番号、または社会保障番号に関するいかなる参照情報も 絶対に 登録されることはありません。電子選挙人名簿では、ほぼリアルタイムでの検索機能および有権者のステータス情報の提供が行われ、本質的に、有権者および ROV の選挙担当者の両者にとって、よりよい投票プロセスを提供します。

アウトリーチ

公共相談

California 州選挙法に従い、ROV は、選挙管理計画プロセスに包括的な参加を促進するために、EAP の更新のたびに、一般からの意見を求めることを継続的に行います。選挙法に基づき、ROV は EAP の改訂を検討するための公開会議を4年に1度、開催します。

¹⁸選挙法第 52183 参照

EAP 会議の議論内容：

- 投票センターの候補地
- 投票用紙投函所の候補地
- 多様な言語で対応する必要性
- 多様な有権者へ対応する必要性
- メディアおよびイベントを通じた地域社会でのアウトリーチに関する提案

一般公示

2つの直接送付される郵便物により、すべての有権者が郵便投票用紙を受け取ることが通知されます。この通知は、完全郵送による投票が行われること、また投票者が3つの方法のいずれかにより投票することができることを有権者に知らせるものです。投票方法は、郵送（郵便料金前納）、任意の投票用紙投函所で投函、または郡内の任意の投票センターで直接投票のいずれかです。この通知には、利用できる形式または英語以外で提供される8ヶ国語のいずれかで郵便投票を請求する期限が記載されているとともに、投票センターおよび投票用紙投函所の利用可能日、場所、および有権者が利用できる時間帯が掲載されているリンク先の記載があります。直接送付される郵便物には、投票センターや郡や州の有権者情報ガイドの詳細など、重要な情報が記載されています。また、この通知により、ROVのウェブサイトのリンク先、電話番号、投票サポートを受けられる通話料無料の(866) 430-VOTEのホットライン番号も有権者に提供されます。

最初の直接郵便は選挙の約90日前に発送され、2番目のセットは選挙の約29日前に発送されます。VCAに関するすべての公示および情報は、利用可能な形式でROVのウェブサイトに掲載されます。

言語アクセシビリティおよび投票アクセシビリティ諮問委員会

Santa Clara郡の有権者登録事務局（ROV）は、内部過程の改善、利害関係者および市民の意見および有権者選択法（VCA）を採択した郡からのフィードバックなどを調整する過程を通じて、2つの諮問委員会を設立しました。1つ目の委員会は、投票センターのモデルが英語以外の言語を第一言語とする有権者のためにより良いサービスを提供する方法について、少数言語の地域からの意見を求める言語アクセシビリティ諮問委員会（LAAC）です。2つ目の委員会は、高齢者や障害のある有権者など、アクセシビリティに関する懸念がある有権者の投票に関する必要や懸念事項が確実に解決されるため、有権者からの意見を求める投票アクセシビリティ諮問委員会（VAAC）です。こういった委員会の委員は、非営利団体および地域に根差した組織からSanta Clara郡内の地方自治体に至るまで、様々な連絡網および協力を通じて関与します。LAACおよびVAACのすべての会議の一覧は、そのアジェンダと議事録とともに、ROVのウェブサイトwww.sccvote.org/voterschoiceで掲載され、保管されています。

パート 2：有権者教育とアウトリーチ

有権者選挙法（VCA）は、VCA を実施する郡に対して、VCA の条項について有権者に広報する有権者教育およびアウトリーチ計画を実施することを義務づけています。具体的には、この法律は、障害を持つ有権者に対してのみならず、主に英語以外の第一言語を持つ有権者に対しても、利用可能なサービスに関する地域社会教育を行うことを目的とするアウトリーチ活動を義務付けています。

Santa Clara 郡の有権者登録事務局（ROV）には、既存のアウトリーチ対応チームとプログラムがあり、また年間を通じて頻繁に様々なイベントに参加して、有権者登録サービスと一般有権者教育を行うとともに、地域社会での存在を維持しています。EAPにおけるこの有権者教育とアウトリーチ活動の部門は、VCAに関する公衆教育を行うために、ROVが既存のアウトリーチプログラムを強化すると同時に、新たな手法を織り交ぜることにより、地域社会に手を差し延べる方法についての概略を示すものです。アウトリーチ活動は、地域社会とのパートナーシップの増大、市民参加機会の拡大、および投票センターモデルによる有権者の投票体験の改善ということを目指して構築されるものです。

第1項：有権者との接触 - 一般

ROV が過去に参加し、アウトリーチ活動を実施したイベントに加えて、さらに有権者の教育およびアウトリーチが、郡のできるだけ多くの人々を網羅することを目的として計画が策定されます。従来十分なサービスを受けて来なかった地域社会に手を差し伸べる計画が策定されています。

高齢者コミュニティ、民族／言語コミュニティ、青少年コミュニティ、学生コミュニティ、十分なサービスを受けていなかった地域社会や近隣地域に、手を差し延べることを ROV は計画しています。また、ROVは、100を超える地域社会を基盤とする組織（CBO）と協力し、それら組織がその地域社会に提供している働きについて学ぶとともに、それについてROVのアウトリーチチームの参加方法について学ぶことを計画しています。有権者教育プログラムを確実に実行するために、CBOおよびすべての地域社会と協力することが目標となります。

メディアの使用

ROV は、投票センターモデル、郵便投票手続き、期日前投票のオプション、および投票センターで働く機会などの情報についてマスコミを通して宣伝します。マスコミには以下のものがありますが、これだけに限られません。

1. 地元テレビおよび地元ケーブル局
 - a. Comcast（コムキャスト）
 - b. Univision（ユニビジョン）
 - c. Telemundo（テレムンド）
 - d. Namaste TV（ナマステ TV）
 - e. Crossing TV（クロッシング TV）
2. 新聞（地方新聞、地域社会新聞）
 - a. The Mercury News（マーキュリーニュース）
 - b. Metro(メトロ)
 - c. Morgan Hill Times（モルガンヒルタイムズ）
 - d. Gilroy Dispatch（ギルロイディスパッチ）
 - e. El Observador（エルオブザバドル）
 - f. Epoch Times（エポックタイムズ）
 - g. India West（インディアウエスト）
 - h. Korea Times（コリアタイムズ）
 - i. Nichi Bei Weekly（日米ウィークリー）

- j. Philippine News (フィリピンニュース)
 - k. San Jose State Spartan Daily (サンノゼステートスパルタンデイリー)
 - l. Santa Clara University Newspaper (Santa Clara大学新聞)
 - m. Stanford Daily (スタンフォードデイリー)
 - n. Viet Nam Daily (ベトナムデイリー)
 - o. World Journal (ワールドジャーナル)
 - p. N & R (エヌ・アンド・アール)
 - q. China Press (チャイナプレス)
 - r. JWeekly (Jウィークリー)
 - s. Spotlight (スポットライト)
 - t. Bayspo Magazine (ベイスポマガジン)
 - u. Daily Post (デイリーポスト)
 - v. India Current (インディアカレント)
3. ラジオ
- a. KBAY/KEZR
 - b. KFOX
 - c. KRTY/KLIV
 - d. Sound of Hope (サウンドオブホープ)
 - e. Sing Tao (シンタオ)
 - f. Univision (ユニビジョン)
 - g. Vien Thao (ビエンタオ)
 - h. Celina Rodriguez (セリナロドリゲス)
 - i. China Press (チャイナプレス)
 - j. Radio Zindagi (ラジオジンダギ)
4. ソーシャルメディアやROV および郡のウェブサイトの利用
- a. ROVのFacebookページ: <https://www.facebook.com/sccvot>
 - b. 郡のFacebookページ: <https://www.facebook.com/county.of.santa.clara>
 - c. ROVのTwitter: <https://twitter.com/sccvot>
 - d. 郡のTwitter: <https://twitter.com/SCCGov>
 - e. ROVのInstagram: www.instagram.com/sccvot
 - f. Nextdoorアプリ: (Santa Clara郡でのコミュニケーションとメディアで検索)
 - g. 郡のニュースレター購読リスト
5. ROVのYouTube: <https://www.youtube.com/sccvot>
6. バレー交通局バスによる公共交通機関での宣伝
7. 郡内の地域社会パートナー、障害者擁護団体、選出公職者、特別地区、学区、地域社会を基盤とする組織、郡内の宗教団体などのグループとの資料の共有
8. 利用可能な放送経路における広報キャンペーンを補足、補強するものとして公共広告機構(PSA)を利用する。PSAは、VCAに関する一般的情報、VCAに関する特定言語情報、通話無料言語支援ホットライン、投票センターでのバリアフリー情報および遠隔地からの郵送投票方法などの項目について報道します。

ROV はまた、今後の選挙に関する情報を有権者へ知らせるために、利用可能な形式で広く配布されるオーディオおよびビジュアルメディアも使用します。聴覚障害や難聴などの障害を持つ有権者や、盲目や視覚障害を持つ有権者を含むすべての郡内の有権者へ情報を知らせる事が目標となります。

地域社会でのプレゼンス計画および有権者教育の資料

ROVは、年間を通じて常に何百もの地域社会イベントに参加し、さらにCBOと協力して、今後の変化を地域社会に伝え、投票率を高める事に積極的に取り組んでいます。有権者教育を円滑に進めるために、説明資料や職員が用意されています。地域社会アウトリーチ計画の詳細については、付録Bをご参照ください。

直接郵送

ROVは、Santa Clara 郡の各登録済有権者に 2 通の郵便により、次の選挙について、及び通話料無料の有権者支援ホットライン (866) 430-VOTEについて通知します。この郵便で有権者に提供される情報は、新選挙モデル、次の選挙について、どこで有権者がその変更に関して更に詳しい情報を得る事が出来るか、及び投票センターと投票用紙投函所が受付ける、期間、場所、時間帯の詳細を得る事の出来るリンクです。各郵送物は、有権者の言語選択に応じて最大13言語に翻訳され、英語以外の言語を選択した登録有権者に配布されます。

ROVのウェブサイトの有権者教育関連資料

有権者選択法の情報などを含む、すべてのアウトリーチ用有権者教育資料の電子版が、ROVのウェブサイトにてご覧になれます。ROVのウェブサイトには以下の情報が掲載されます。

- VCAに関する一般的情報
- 投票センターおよび投票用紙投函所の場所と利用時間
- ROV通話無料有権者支援ホットライン
- EAP文書
- VCA広報資料
- VCA教育用動画とプレゼンテーション
- アウトリーチとワークショップの日程
- 各投票センターでの直接言語サポートの利用

第2項：有権者との接触 - 少数言語の地域社会

有権者登録事務局（ROV）は、投票センターのモデルが英語以外の言語を第一言語とする有権者のためにより良いサービスを提供する方法について、少数言語の地域社会からの意見を求める言語アクセシビリティ諮問委員会（LAAC）を設立しました。この委員会は、投票センターの場所、提供される予定あるいは提供されるべき機能やサービスなど、さまざまな側面に関するフィードバックを提供します。この委員会は定期的に開催され、地域住民からの意見を聴取します。

少数言語の地域社会の特定

Santa Clara 郡の登録有権者からの希望言語申請に基づき、少数言語を第一言語とする地域社会が識別可能となります。国勢調査情報その他一般に公開された人口統計情報と、この情報を組み合わせて活用し、ROVは主要な言語を使用している地域を地図上で把握します。予定される有権者の教育およびアウトリーチの一環として、少数言語地域を対象にしたアウトリーチ活動が計画されています。ROVはまた、参加して役立つ可能性があるその他のアウトリーチ方法や地域社会でのイベントを特定するために、さまざまな少数言語の地域社会からの提案を募集しています。

対象となる少数言語コミュニティ

ROVは英語も含めて14カ国語でサービスを提供しています。以下の5つの言語が連邦政府によって義務付けられています。英語、中国語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語。次の9つの言語が州で義務付けられています。グジャラート語、ヒンディー語、日本語、クメール語、韓国語、ネパール語、パンジャブ語、タミル語、テルグ語。公式投票用紙、条件付き有権者登録と暫定投票用紙の封筒、およびすべての投票センターにおける表示は、14カ国語すべてで提供されます。投票投函所の表示は、グジャラート語、ネパール語、パンジャブ語、タミル語、テルグ語の5言語が追加されています。郡有権者情報ガイド (CVIG) は、以前と同様、連邦政府が義務化した言語でのみ提供されます。さらに、投票センターでは、広東語、ペルシア語、グジャラート語、ネパール語、ポルトガル語、パンジャブ語、ロシア語、シリア語、タミル語、テルグ語、タイ語など、郡内で使用されるその他の言語や方言を支援するバイリンガル職員が配備される場合があります。特定の言語地域社会の配置図および対象設定に基づき、ROVは、多様な地域社会のバイリンガル選挙担当者を通じて、適切な言語支援を提供することを目指しています。投票センターの人員配置が完了すると、ROVは各投票センターでの直接言語サポートの利用に関する情報をROVのウェブサイトに掲載します。

少数言語の地域社会のための有権者教育ワークショップ

ROVはバイリンガル有権者教育ワークショップを上記14カ国語で行っています。このワークショップは、Santa Clara 郡内の言語コミュニティに対して、各特定の言語で書かれた資料および支援機材を使用する機会を提供することに加えて、投票センターモデルに関する情報を提供する場でもあります。ROVは、言語アクセシビリティ諮問委員会(LAAC)の委員から得た情報を元にして、ワークショップの開催場所と開催日を決め、また、参加者を支援するために特定言語の通訳者を選びます。

少数言語の地域社会を対象とするメディアの利用

各少数言語の地域社会に対して、有権者登録事務局の通話料無料ホットライン (866) 430-VOTE、および一般有権者情報に関する (408)299-VOTE が提供されるだけでなく、投票センターモデルおよび郵便投票に関する情報も提供されます。連邦政府が義務化しているすべての言語を筆頭に多くの特定言語のマスコミが活用されます。マスコミには以下のものがありますが、これだけに限られません。

1. 地元テレビおよび地元ケーブル局
 - a. Univision (ユニビジョン、スペイン語)
 - b. Epoch Times (エポック・タイムス、中国語)
 - c. Telemundo (テレムンド、スペイン語)
 - d. Namaste (ナマステ、ヒンディー語)
 - e. Crossing TV (クロッシングTV、英語とその他8言語すべて)
2. 新聞 (地方新聞、地域社会新聞)
 - a. El Observador (エル・オブザバドール、スペイン語)
 - b. Epoch Times (エポック・タイムス、中国語)
 - c. India West (インディア・ウェスト、英語)
 - d. Korea Times (コリア・タイムス、韓国語)
 - e. Nichi Bei Weekly (日米ウィークリー、日本語)
 - f. Philippine News (フィリピン・ニュース、タガログ語)
 - g. Viet Nam Daily (ベトナム・デイリー、ベトナム語)

- h. World Journal (ワールド・ジャーナル、中国語)
 - i. N & R (エヌ・アンド・アール、英語)
 - j. China Press (チャイナ・プレス、中国語)
 - k. JWeekly (Jウィークリー、日本語)
 - l. Spotlight (スポットライト、英語)
 - m. Bayspo Magazine (ベイスポ・マガジン、日本語)
 - n. Daily Post (デイリー・ポスト、英語)
 - o. India Currents (インディア・カレンツ、ヒンディー語)
3. ラジオ
- a. Univision (ユニビジョン、スペイン語)
 - b. Celina Rodriguez (セリナ・ロドリゲス、スペイン語)
 - c. Sound of Hope (サウンド・オブ・ホープ、中国語)
 - d. Sing Tao (シン・タオ、中国語)
 - e. Vien Thao (ビエン・タオ、ベトナム語)
 - f. China Press (チャイナ・プレス、中国語)
 - g. Radio Zindagi (ラジオ・ジンダギ、ヒンディー語)
 - h. Korean American Radio (コリアン・アメリカン・ラジオ)
4. ソーシャルメディアおよび省庁のウェブサイト
- a. ROVのFacebookページ: <https://www.facebook.com/sccvote>
 - b. 郡のFacebookページ: <https://www.facebook.com/county.of.santa.clara>
 - c. ROVのTwitter: <https://twitter.com/sccvote>
 - d. 郡のTwitter: <https://twitter.com/SCCGov>
 - e. ROVのInstagram: www.instagram.com/sccvote
 - f. Nextdoorアプリ: (コミュニケーションとメディア Santa Clara郡で検索)
 - g. 郡のニュースフィード購読リスト
 - h. ROVのYouTube: <https://www.youtube.com/sccvote>
 - i. ROVのウェブサイト: <https://www.sccvote.org>
5. 少数言語地域社会のニュースレター
6. 少数言語地域社会の有権者に次の選挙および通話料無料支援ホットラインの情報を知らせるために、公共広告機構 (PSA) を利用します。PSAは、すべての連邦および州で義務付けられた言語を通じてテレビ、ラジオ、新聞およびオンラインで配信されます。

選挙担当者

投票センターにおける職員の構成を検討しながら、ROV は、選挙担当者を雇用します (選挙法により選挙管理委員会と呼ばれます)¹⁹。投票センターの人員の配置は、選挙日までの日数および投票所の規模によって決められます。各投票センターにおいて、6人から15人の選挙担当者を配置する計画となっています。選挙日が近づくにつれて、さらに多くの職員が、大規模な投票センターおよび混雑する時間帯に配備されます。選挙日の10日前から4日前までの間は、投票センターの最低人員は6人です。選挙日の3日前から1日前までの間は、投票センターの人員は必要に応じて8から15人です。

また、言語毎に少なくとも1人の選挙担当者、または少なくとも、各投票センター地域内で最も一般的な言語毎に1人の選挙担当者を配置するという計画もあります。ROV では、有権者への支援を最大限に遂行できるように、有権者の通訳としても働ける投票センターの職員をできるだけ多様な地域社会から採用します。募集は、典型的な公募採用申請手続きと同時に、以前勤務したバイリンガル選挙担当者への連絡も行うことにより執り行われます。

¹⁹ 選挙法、第12部、第4章、第1条

第3項: 有権者への対応 - 障害を持つ有権者

有権者登録事務局 (ROV) では、投票アクセシビリティ諮問委員会 (VAAC) を設立し、高齢者や障害を持つ有権者など、アクセシビリティに関する懸念のある有権者の意見を求めました。この委員会は、投票センターの場所、提供される機能あるいは提供されるべき機能やサービスなど、さまざまな側面に関するフィードバックを提供します。この委員会は、地域社会の意見を継続して聴取し、協力する媒介として維持されます。この委員会は定期的に開催され、地域住民からの意見を聴取します。

障害を持つ有権者の必要を特定するために使用される方法

ROVは、継続して障害を持つ有権者の必要への特定方法の改善に努めています。そのため、ROVは4種類の主要な情報源を用いて障害を持つ有権者に関し分析しています。(1) 障害を持つ市民、(2) 障害のある有権者に支援サービスを提供するCBO、(3) VCAを実施するその他の郡、(4) 州務長官事務局。VCAが全く新しい投票の実施方法を施行するにあたり、ROVは、障害を持つ有権者（およびサポートを提供するCBO）との関係を、新しい段階に発展させる良い機会だと捉えます。

California州障害者権利およびSilicon Valley自立生活センターは、障害を持つ有権者の必要に関してROVに直接支援を要請した団体です。1最初の取り組みから、ROVは以下の組織との提携を継続しています。

- 視覚障害者 Vista センター
- 発達障害に関する国家評議会 – (Central Coast 事務局)
- ハンディキャパブルズ
- Santa Clara Valley 視覚障害者センター
- San Andreas地域センター

この新しい段階では、障害を持つ有権者からの直接的な意見の重要性が強調されます。ROVでは、有権者から直接寄せられるすべての意見を検証および探索することに進んで取り組んでいきます。

障害者コミュニティへのアウトリーチ

一般的なメディアキャンペーンに加え、ROVはバリアフリーの必要を持つ有権者に情報を提供することにも焦点を当てています。これには、遠隔地バリアフリー郵便投票 (RAVBM) システムの利用に関する情報や、全ての投票センターで投票装置の利用が可能である情報が含まれます。RAVBMシステムは、障害を持つ登録済有権者だけでなく、兵役軍人および海外在住の有権者が利用できるように設計された制度です²⁰。

その他の情報発信の機会は以下のとおりです。

1. Silicon Valley 自立生活センター、Silicon Valley 視覚障害評議会、Santa Claraバレー・ブライント・センター、グレーターオポチュニティーズなど、高齢者や障害者にサービスや支援を提供する団体等
2. 地域社会パートナー、市町村、特別区、学区、宗教団体、郡全体を取り扱う広報役員
3. 「オープンハウス」の公開デモで焦点を置かれるバリアフリーのオプションおよび、模擬投票センターが体験できるあらゆるメディアでの機会
4. ラジオおよびテレビの公共広告により、投票センターでのバリアフリーオプションを宣伝する。
5. 公共への広告は、投票センターでのバリアフリーオプションだけでなく、遠隔地バリアフリー郵便投票システムについても、宣伝する。

²⁰ California州選挙法第 §303.3 を参照

障害を持つ有権者に対するサービス

すべての投票センターは、障害を持つアメリカ人法（ADA）に準拠します。必要に応じて、すべての有権者に対して適切なアクセスを提供するため、その他の利用可能なドアおよび入り口が利用可能となります。さらに、規模に応じて、投票センターには、障害を持つ有権者が自立的かつプライバシーを維持しつつ投票が行えることを可能にする、ADA 準拠の機能を備えた投票マーキング機（BMD）が装備されます。自宅で快適に投票したい有権者のために、RAVBMシステムの利用を申請するオプションも提供されます。RAVBMにより、投票者に公式投票用紙をダウンロードするリンクが記載された電子メールが送信され、投票方法、記入方法、およびROVに返送するための方法が提供されます。障害を持つ有権者は、一般有権者情報向けの(408) 299-VOTEに加え、ROVの通話料無料ホットライン(866) 430-VOTEでサポートを受けることもできます。どちらの電話番号でも、言語サポートが提供されます。

障害者コミュニティのための有権者教育ワークショップ

ROVは、年配者および障害を有する有権者に対して、バリアフリーオプションの利用とその投票センターにおける手順に関する情報を提供するために、有権者教育ワークショップを開催します。このワークショップでは、投票センターモデル、投票装置のデモンストレーション、投票装置のバリアフリー性、投票用紙投函所に関する情報および電子的に郵便投票用紙を取得する方法などをはじめとした情報についての啓蒙が行われます。ROVは、投票アクセシビリティ境諮問委員会(VAAC)のメンバーから得た情報を用いて、ワークショップの場所と日程を選択します。

障害を持つ有権者の教育に使用される資料

ROVは、情報を広く伝えるために、オーディオ、視覚および文字による教育資料を作成します。そして、これら教育資料の開発には、VAACのミーティングで収集した情報が活用されます。こういった教育資料は、ROVのウェブサイトでもリソースとしても利用できます。VCAが広報または教育に使用する動画は、クローズドキャプションを利用することができます。このようなものの一例として、ROVのウェブサイト上で掲載されているVCAの広報用動画や、オンライン配信（そしてアップロード）されたEAP公聴会があります。さらに、ROVはVCA情報冊子を点字に直しました。

選挙担当者

ROVは、選挙担当者のための特別なトレーニング教材を開発しました。トレーニング教材の中には、障害を持つ有権者との接し方など文化的にセンシティブな側面に焦点を当てるものもあります。選挙担当者のトレーニングに活用されるその他の資料には、障害を有する有権者が投票センターにおいて持ち込んで使用することが必要となる視聴覚作用を支援する様々な装置に接続して操作するという技術的側面を有するものもあります。選挙担当者のトレーニングのために多様な動画が用いられ、障害を持つ人も持たない人も含めてすべての人々に対するそれぞれのサービスをいかに行うかを理解するのに役立てられています。その他のトレーニングには、障害を持つ有権者のために投票センターを適切にセットアップする方法などもあります。すべての選挙担当者は、各有権者の個性に対して責任と尊重の念を持ち、すべての有権者の多様性に対して献身的に仕事を行うという宣誓をします。選挙担当者は、すべての有権者を暖かく迎え、尊重し、その価値を認めるという誓いをします。

第4項：投票センターおよび投票用紙投函所

投票センターの場所

California州選挙法では、郡に対し、投票センターを2つの期日前投票期間で運営することを義務付けています。最初の期限前投票期間では、選挙日の10日前から4日前までの合計7日間、投票センターを運営しなければなりません。これは、郡の登録有権者5万人毎に1カ所の投票センターを持つ試算に基づいています。2度目の期限前投票期間では、選挙日の3日前から選挙日を含め、合計4日間、投票センターを運営しなければなりません。この計算は、郡の登録有権者1万人当たり1カ所の投票センターを設けることを前提にしています。

投票センターの時間の一部は、スケジュールが不規則な人々に対応するため、時間帯をずらしたり、または各場所の利用可能性に依存することがあります。本文書の発行時点で、現在、郡内の有権者数は1,011,395人です。現在の登録状況に基づき算出された、投票センターのおおよその必要数は以下の表の通りです。

選挙区分	最低必要数
11日間開館の投票センター (登録済み有権者5万人あたり1箇所)	20
4日間開館の投票センター (登録済み有権者1万人あたり1箇所)	81
合計	101

投票用紙投函所

郡が有権者に投票用紙投函所を提供すべき設定値をCalifornia州選挙法は定めています。選挙日を含む、選挙日の少なくとも28日前から通常の業務時間内に、登録有権者15,000人ごとに少なくとも1つの投票用紙投函所を提供しなければなりません。ROVは、選挙法で定められた数を遵守しながら、郡内の各地区に少なくとも1カ所の投函所を設置することを計画しています。本書発行時点で登録状況に基づき算出された、投票センターのおおよその必要数は以下の表のとおりです。

選挙区分	最低必要数
投票用紙投函所 (有権者 15,000人ごとに1ヶ所)	67

予防措置

ROVは、投票手続きの中断を防ぐため、選挙前および選挙中に、以下の予防セキュリティ対策を実施します。

予防セキュリティ対策	目的
標準的なセキュリティ対策	選挙関連の資料および機器へのアクセスを制限し、混乱につながる可能性を予防。
サーバーおよびネットワークのバックアップ	主要サーバーまたはネットワークがダウンした場合の情報フロー中断の防止。
投票所機材一式のバックアップ バックアップ機器	任意の機器が使用できなくなった場合の投票手続きの中断防止。 任意の機器がなくなった場合の

予防セキュリティ対策	目的
	投票手続きの中断防止。
投票用品の予備	任意の投票用品がなくなった場合の投票手続きの中断防止。
投票センター職員の待機要員	投票センターの職員が休んだ場合の投票手続きの中断の防止。
不審者あるいは不審物の取扱い手続き	不審者や不審物が発見された場合の投票手続きの中断の防止。
マニュアルシステム整備	任意の電子投票機器が使用できなくなった場合の投票手続きの中断防止。

上記の各予防セキュリティ対策の詳細な内訳については、付録Cを参照してください。

緊急時対応計画

ROV は、円滑な選挙プロセスを確保するため、可能な限りあらゆる措置を講じますが、混乱が発生した場合、ROV は運営を継続するために、具体的な措置を講じます。ROV は、主要な中断可能性のいくつかを特定しています。

- 選挙情報管理システムの停止
- 停電
- 悪天候
- 火災その他の災害
- 投票機器の故障
- オンデマンド投票機器の機能停止
- インターネット接続障害
- 投票センター職員の欠勤
- 使用できなくなった投票センター

上記の中断の内訳、ROV の解決策、および追加の ROV 緊急時対応については、付録Dを参照してください。

第5項: 投票センター投票のセキュリティおよびプライバシー計画

投票センターの設計とレイアウト

理想的な投票センターは、指定された公開投票エリアに十分なスペースを提供しつつ、最適な流れを確保するために、少なくとも 60' x 60' の規模となります。有権者を適切な職員に案内するための指定キューシステム、新たな電子選挙人名簿で有権者を処理するログイン用テーブル、投票用紙が印刷されるオンデマンド投票プリンターのエリア、投票ブースおよび投票マーキング装置エリアが設けられています。付録Eに、ガイドとして使用されるべき一般的なレイアウトの設計が表示されていますが、各投票センターの寸法によって、カスタマイズされたレイアウトが採用されます。

投票に関するセキュリティ

有権者データの機密性、完全性、およびセキュリティを確保するために必要なすべての手順が実行されます。郡の有権者データはすべて、郡の職員が利用でき、データが保護されるように設計されたセキュリティ対策を使用して、データベースとサーバーに保存されます。

有権者登録事務局(ROV) の本部では、投票システムはエアギャップ対策がとられ、外部ネットワークにアクセスすることはできません。投票システムへの唯一のアクセスは、システムを収容するサーバーームに物理的に入室することとなります。コンピュータのセキュリティに関しては、デスクトップコンピュータを安全にシャットダウンする時間がない場合、職員は **Ctrl + Alt** キーを押しながら削除ボタンを

押して、コンピュータをロックしなければなりません。単に一回電源ボタンを押すだけでは、接続を切断し、完全にシャットダウンするのに十分でない可能性があるためです。停電の場合、職員は、コンピュータを処理する最善の方法についてヘルプデスクからの指示を待たねばなりません。

いずれの投票センターでも、職員はすべての有権者の登録データと投票履歴情報にほぼリアルタイムでアクセスすることができます。投票センターで利用可能となり、投票センターと郡のデータサーバー間で送信される投票者データは、最新の暗号化技術を使用して暗号化されています。投票者データへのアクセスは、投票センターの特定の選挙装置および機器のみで許可され、データは送信中および休止中に暗号化されています。定期的なデータバックアップおよびユーザー操作と手続きの詳細な監査証跡が行われ、透明性およびセキュリティが確保されています。

投票センターで完了した投票は、ネットワーク接続のない投票集計機を使用して、現場でスキャンおよび集計が行われます。投票データは暗号化され、機器から物理的に取り出すことによるのみアクセス可能なカートリッジに保存されます。各投票用紙のカートリッジは、選挙日の午後 8 時の投票終了後に記録のために ROV 本部事務局に戻されます。

受領した郵便投票 (VBM) 用紙はROV本部に集められて、安全を確保した室内で開票作業が始まるまで安全に保管されます。開票作業を行う前に投票用紙封筒上の署名が登録有権者の署名と合致するか確認が行われます。署名確認終了後、投票用紙は封筒から出されて、選挙区ごとに保管されて、開票に回されます。集計作業後、投票用紙は選挙区ごとに別々の安全な場所に保管されます。

緊急事態が発生し、職員が建物から投票用紙を取り出す必要がある場合、職員は箱にテープを貼るかあるいは箱を大型容器に入れるかして、新たな場所に移動させなければなりません。建物から取り外すことができない場合は、セキュリティ完備の部屋の 1 つに投票用紙が置かれます。空白の未発行の投票用紙は、それらを移動する時間がない場合は、建物内に残されることとなります。時間がある場合は、ROVまたは被指名人が、空白の未発行の投票用紙をどうするかについて職員に助言を行います。

第 6 項：予算

有権者登録事務局 (ROV) は、投票センターモデルの投票手続きについて有権者に幅広く周知させるために必要なリソースの予算と計画を策定しました。

予測される予算には、アウトリーチ活動に関連する人件費およびその他の費用は含まれていません。予算の内訳は下表の通りです。

活動	予算
広報活動費合計	\$115,000
新聞広告/ラジオスポット広告/ソーシャルメディア/広告印刷	\$100,000
新規ラジオスポット広告	\$15,000
アウトリーチ活動合計	\$1,135,000
アウトリーチ活動消耗品とディスプレイ費用	\$4,000
アウトリーチイベントの頒布品(試供品)	\$14,000
アウトリーチ活動CBO配布のための頒布品	\$1,800
アウトリーチ機器	\$8,000
郡印刷ショップ/印刷資材	\$6,000
レンタカー・燃料費	\$1,200
各登録有権者に対する2回の直接郵便費用	\$1,100,000